

和と話で輪

12月20日、21日の生活発表会には、身動きができない程の教

のおじいちゃんおばあちゃん、み父さんお母さんにお越しいただきま

て本当に有難うございました。笑顔と優しい笑い声、手拍子に

込めた愛のエール、そして大きな拍手に託した愛のシャワーをたっぷり

と注ぎかけてくださいましたこと、心から感謝申し上げます。

子どもたちは今日も口々に「発表会がある」と申して喜びました。楽しかったし嬉しかったし、やり遂げた達成感が自信に変えてまだ未だやれるという意欲が溢ちあちまわっている証です。

生活発表会でもまたひとつ、子どもの心身の成長に大きな節目を築いてくれたことができました。

もうお正月。

歳神様を迎え、家族の幸福を「明けましておめでとろいざいませう」と祈るお正月は、様々な由来や願いが込められたおせち料理が食卓に並びます。「ありがとろいざいませう」と

おせち料理の重箱は「めでたさを重ねる」という意味ですが、農作物や海産物など様々な料理で歳神様をもてなしたお供え物が、現在のおせち料理と考えられています。また、お正月を祝うのに欠かせないのが鏡餅です。

名前の由来は、古くは魂の象徴とされた鏡が円盤状をしていたことから、餅を鏡のようにつくって供えたと伝わります。「年を重ねる」という意味で、大小の餅を重ね、三方に飾ります。供えた鏡餅と食べる行事「鏡開き」は1月1日に行うのが一般的で、「開き」というのは「年を開く」という意味が込められています。

子どもたちにとって、お正月といえば初詣、お年始、お年賀、お年玉でしょうか。来年も子どもたちのために和と話で、ゆく年に思いを託して、明るく和やかな話題で賑わうお正月です。

園長 福田孝子

426. 1月